

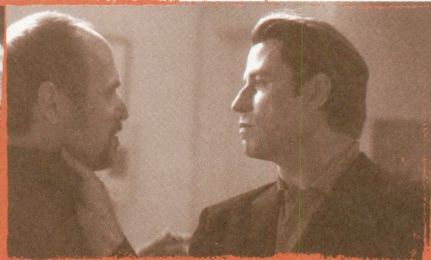
復讐する男“トラボルタ” VS 制裁する男“ジェーン”

ふたりの男の、壮絶な闘いが始まる。

法に代わって、悪を潰す——。

闇の世界で正義を貫く、私刑執行人“パニッシャー”。
誕生以来、アメリカを虜にする男が、スクリーンに登場する!

目の前で、家族を殺害されたFBI特別捜査官キャッスル。怒りと哀しみを超えて心に刻まれたのは、彼だけの法律、そして彼だけの正義。——裁かれぬ悪は、自らの手で処罰することだった。制裁人(パニッシャー)として、ただ一人、巨悪に立ち向かうのは、『ドリームキャッチャー』『クリスティーナの好きなコト』の演技派トム・ジェーン。そして、裏社会を支配する宿敵セイントには、ジョン・トラボルタが抜擢された。『フェイス/オフ』『ソードフィッシュ』でも、圧倒的な存在感を見せつけた彼が、また新たな悪の魅力を開花させている。激しい銃撃戦と、壮絶なバトル。CGに頼ることなく、リアリティを追求した本作は、荒れた社会に生きる男の精神を力強く、美しく映し出している。近年、目にする事のなかった正統派リアルアクション。男たちの熱い闘いが、日本を襲撃する!



パニッシャー。それは、闇の時代に生まれた正義。

FBI特別捜査官フランク・キャッスルは、密輸組織を暴くため潜入捜査を行っていた。現場で始まった銃撃戦。そこで、犯人の一人が死亡した。悪名高いハワード・セイントの息子だ。セイントを選んだ復讐は、息子の死を招いたフランクの、家族全員を殺害すること——。父、妻、息子。愛する人々を失ったフランク。しかし、法律の力ではセイントが十分な罰を受けないことも知っていた。彼は、自らの手で処罰を下す決意を固める。

1974年。マーベル・コミックスから『パニッシャー』が生まれたのは、多発する犯罪にアメリカが揺れている頃でもあった。正義を貫く男の姿を描くこの作品は、不安な時代を生きる現在のアメリカ人にも高い人気を誇り、全米ではスマッシュヒットを記録。続編の製作も決定した。

11月13日(土) ロードショー!

有楽町マリオン前ニュートーキョービル

ニュー東宝シネマ

03(3571) 1946

フジテレビ前・アクアシティお台場

シネマメディアージュ

03(5531) 7878

新宿コマ劇場前シネシティ

新宿オスカー

03(3202) 5657

サンシャイン60通り東急ハンス手前

池袋HUMAXシネマ

03(5979) 1660

USオリジナルポストカードセット付(全国限定 5,000セット)

前売鑑賞券絶賛発売中! ●一般券1,300円(税込み) ※一部劇場を除く